

下痢
CARE

下痢に悩む患者さんの苦痛を和らげるケア&食事

独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院

看護部
リソースナースセンター
がん化学療法看護認定看護師
弘岡 貴子先生



看護部
リソースナースセンター
皮膚・排泄ケア認定看護師
入江 優子先生



栄養管理室
室長
長尾 美恵先生



下痢を起こしやすい薬と発症時期

抗がん剤投与直後～数時間で起こる「早発性」の下痢と、投与後数日たってから起こる「遅発性」の下痢があります。抗がん剤の副作用では遅発性の下痢が多く、抗がん剤によっては早発性と遅発性の両方が起こるものもあります

下痢を起こしやすい抗がん剤の例

- | | |
|--|---|
| <p>✓ イリノテカン</p> | <p>✓ フツ化ピリミジン製剤
(S-1、カペシタビン、フルオロウラシルなど)</p> |
| <p>✓ タキサン系の抗がん剤
(ドセタキセル、パクリタキセルなど)</p> | <p>✓ 分子標的薬
(ゲフィチニブ、エルロチニブなど)</p> |

遅発性の下痢の場合、抗がん剤による骨髄抑制で免疫力が低下する時期と重なることがありますので、感染症にならないように注意しましょう。

下痢の症状を和らげる薬もありますので、ひどい場合は医療従事者に相談してください。

